

2016 災害時避難所実習 at 大手前高校 役割実施記録から 平成 27 年 8 月 1 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 00 at 大阪府立大手前高等学校

部門	役割	指摘事項
本部	鍵開け進入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍵を開けるのにコツがあるので慣れることが大切→誰でも開けられるように</li> <li>・ 暗いところで開けるのが問題→LEDライトとセットで保管してはどうか →避難者が懐中電灯を持たずに来ることは考えなくてよいのでは</li> <li>・ 内側しかゲートの鍵が開かないからといって遠回りする実習は時間の無駄</li> <li>・ ゲートは知っていれば外から手を伸ばして開けられる→来年は外から</li> </ul>
	受付設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍵開け進入できる場所に受付で使える長机は置いてない</li> <li>・ 長机を地域で購入しても置くところがない</li> <li>・ 本部との関係など受付の場所の検討が必要</li> </ul>
受付	受付 役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分でさっさとかけない人の手助けがいる</li> <li>・ 観光地があり外国人向けの受付カードが必要(今日の外交人参加者は優秀)</li> <li>・ 熊本学院大は受付をつくらず対処、守山では避難者側で判別など →避難してくる人が一定の地域の人だからでは</li> <li>・ 救護などを考えると人の名前より状態が大切</li> <li>・ 最初はカードではなくリストが良いのでは</li> <li>・ どういうタイミングで誰の名簿をつくるか議論する必要がある</li> </ul>
総務	防災無線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災無線は区対策本部とのホットライン</li> <li>・ 事務室に置いてあり人がいる時しか使えない</li> <li>・ 生駒山に向け障害物があると使えない…本部と通話者の関係を検討する必要</li> <li>・ 備蓄のアンテナを使いコードをのばすことを検討</li> </ul>
管理	避難者誘導・段差解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石畳の段差解消や体育館前スロープ設置で車いす利用者が通りやすくなった</li> <li>・ 備蓄物資庫の携帯スロープは段差が大きいと介助なしでは使えない</li> <li>・ 下りの先がスロープなのか段差なのか手前から見えにくい所がある</li> <li>・ 障がい者用トイレに鍵がかかっており使えなかった</li> </ul>
	照明設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コードリールはコードを全部伸ばして使わないと熱を持つので注意が必要</li> <li>・ 備蓄物資庫の位置を考えると台車はもっとあった方が良い</li> <li>・ 片側を照らす照明より工事現場などで使うバルーン型の方が良いのでは</li> </ul>
救護	可搬式ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポンプ起動は初めての人には結構難しいので実習を重ねて慣れる必要がある</li> <li>・ ポンプを暗い中で起動するには懐中電灯が必要</li> <li>・ ポンプはプールの鍵を開けてプールサイドに置いて吸管を入れるのが原則</li> </ul>
	けが人搬送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備蓄物資庫内の資機材ロッカーの鍵がかかっており布担架が出せなかった</li> <li>・ 通常鍵をかけることはないので開きにくかったのかもしれない</li> </ul>
物資	物資管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備蓄物資庫の取っ手の下が抜けている</li> </ul>

○ 総評

- ・ 実習の継続により携帯スロープ、看板の配備、段差の解消などの成果が上がっている。
- ・ 携帯スロープの限界、無線の練習の必要性、障がい者用トイレの鍵など課題も明らかになった。
- ・ 色々な人が参加する実習により生徒に還元できる対策ができる。